

## 令和5年度 第4回 江西中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和6年2月6日(火) 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 江西中学校 応接室
- 3 出席委員 大竹信二、岡本弥佐、稲垣佐登史、渋谷美紀、天野慎士、影山武史
- 4 欠席委員 大高洋子
- 5 オブザーバー 内山譲(南部協働センター コミュニティ担当)、鈴木義明(地域住民、中区協議会会長)
- 6 学校職員 松島 望(校長)、青島真紀(教頭)、吉春雅子(教務)、犬塚貴美子(CSD)
- 7 教育委員会 鈴木陽子(浜松市教育委員会教育総務課)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 犬塚貴美子
- 10 議長の選出 司会の教頭から議長の選出について、輪番制で今回は渋谷委員の番で良いか、という発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 次年度学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について
- (4) 夢育やらまいか事業(CS加算分)の報告

### 12 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

熟議に入る前に前回会議録の確認があった。

#### (1) 学校関係者評価について

議長の指示により、教務から別紙資料に基づき、学校関係者評価についての説明があった。委員からは、以下の発言があった。

- ・ まなびの教室は、自宅でリモート学習もできるのか？また、まなびの教室から通常級へ戻る生徒はいるのか。(渋谷委員)
- ・ 最終的に目指すところは？(大竹委員)
- ・ 出席扱いにはなるのか？(岡本委員)

→リモートは出来る。生徒、保護者の意向に合わせて出来得る限りの提案をし、選択肢を増やすように運営している。近いところにより良い居場所をつくり、学校生活へとつ

なげ、自分から能動的に動けるようにしたい。通常級への復帰というより、まなびの教室(校外の教室も含め)との併用等、個々に合わせた居場所づくりや環境整備を適宜対応するようにしている。出席扱いになる。いろいろな子がいるので、支援員や教員がついて対応している。(校長)

学習の場を提供することが大事。(教頭)

・ 確かな学力向上プラン内の、output できるような授業、の具体的な方法は？(影山委員)

→話すことが得意な子はプレゼンしたり、不得意な子はICTを活用したり、と個々の得手不得手に合わせていろいろな方法で対話的な学びを展開していく。(校長)

・ まなびの教室に行くことで自信にもなるし、保護者の安心にもつながり、良いと思う。強制的でないことで、子どもの自発的な行動につながるのでは。(渋谷委員)

## (2) 次年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、令和6年度の学校運営構想の説明があった。

委員からは以下の発言があった。

・ 生徒の不安を見つけるのは難しく思われる。(稲垣委員)

→組織の中で適材な人材を見つけ育成、経験、伝授するなど、組織として、チームとして対策していけるよう取り組んでいる。(校長)

親が不安を抱えていることもある。話を聞いて、コーディネートや地域につなげていきたい。(教頭)

・ スクールカウンセラーの人数や回数を増やして欲しい。(渋谷委員)

→市によって違う。市民の声が大きくなれば実現するかも。(校長)

・ 防災教育の具体的な内容は？(大竹委員)

→防災センターの人に来てもらい解説してもらったり、避難訓練、施設の防災点検を実施したりしている。(校長)

・ 12月の地域の防災訓練にも中高生は参加している。震災等の時に地元にいる中高生は地域の力になる。期待している(稲垣委員)

・ いじめの定義や線引きは難しい。子どもとの対話が気付くヒントになる。(影山委員)

・ いじめの具体的な内容は？(渋谷委員)

・ いじめによる不登校はあるのか？(大竹委員)

・ 生徒同士でない、例えば対教師等もあるのか？(天野委員)

→内容は SNS や何気ない一言、一対グループ等。アンテナを高くして情報収集に努め、迅速に対応していきたい。不登校はそれだけでなく、複合的な要素によるものがある。教師と子どもに対しても、複数で関わり、地域の力も借りて解決するようにしていきたい。来年度も組織的に迅速に対応していきたい。(校長)

司会から来年度の学校運営方針の基本方針について、挙手での承認を諮ったところ、全委員の挙手があり承認された。

### (3) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、大竹会長から別紙資料に基づき、説明があった。

委員からは以下の発言があった。

・ 情報発信に関しては知らない人がほとんどのため、もっと発信できれば、どう広げていくか、課題があると思う。(大竹委員)

・ 職業体験では、地元の産業(機織りや玉葱の収穫等)の魅力を知ってもらえるような受け入れ先があると良い。エリアを広げたり、見学だけでも良かったりするのでは。知らないを知るところから始められたら。体験を通して将来的に活気ある街づくりにつながっていったら良いと思う。(渋谷委員)

### (4) 夢育やらまいかCS加算分について

議長の指示により、教頭から夢育やらまいかCS加算分についての報告があった。

#### その他連絡事項

・ 2期目について

教頭から2期目の体制について説明、開催日、コーディネーター、委員の交代、続投の方の確認があった。

・ 次回の開催日時について

CSデレクターから、次年度第1回協議会を令和6年6月28日(金)15時から会議室にて開催する旨の連絡があった。